

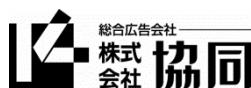
青森県危機管理局 防災危機管理課 御中

あおもり
防災
チャレンジ



令和7年度「あおもり防災チャレンジ」専用サイト運用保守等業務
参加登録情報及びアンケート集計結果報告書

令和8年2月6日



参加登録について

登録フォーム解放期間 令和7年7月31日(木)～11月12日(水)

<登録フォーム(1/2)>

あおり防災チャレンジ「チャレンジ宣言」登録フォーム

「あおり防災チャレンジ」に参加予定の方は、下記項目の入力をお願いします。
お預かりした情報は、参加状況の把握以外に使用することはありません。

参加形態 **必須**

☐ 個人(家族を含む)

☐ 団体

団体の場合 **任意**

☐ グループ(知人・友人など)

☐ グループ(NPO・自主防災組織・自治会など)

☐ 学校(保育園・幼稚園を含む)

☐ 企業

☐ 行政

☐ その他

団体(グループ名) **任意**

団体(グループ名)ふりがな **任意**

メッセージ **任意**

メッセージ記載例

- 当社では、11月15日(金)のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声でお客様と一緒に実施する予定です。
- 当施設では、11月15日(金)に洪水土砂災害や津波ハザードマップと備蓄品の確認を行います。
- XX町の自主防災組織では、11月5日(火)に防災訓練を実施します。ハザードマップと避難経路の確認も行う予定です。
- 当自主防災組織では、あおり防災ウィーク期間中にまち歩きを行い、避難経路上の危険個所の確認を実施します。
- 当消防団では、XX市が実施する避難訓練にて、避難所開設訓練を実施します。
- 11月17日(日)に、家族全員で備蓄品の確認を行います。
- 当社では 11月15日(金)のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認も実施します。
- 当町(村・機関)では、あおり防災ウィーク期間中に、業務継続計画(BCP)の遂行訓練を実施します。
- 我が家(当園)では、11月15日(金)に避難場所と避難経路の確認を行います。
- 本校はXX町が実施する避難訓練に参加する予定です。
- 我が家では、通電火災の対策(感震ブレーカー設置など)について話し合います。

<登録フォーム(2/2)>

団体名(グループ名)公開の可否 **必須**

「個人」を選択された方は「公開不可」を選択してください。

☐ 公開可☐ 公開不可メッセージ公開の可否 **必須**☐ 公開可☐ 公開不可参加予定人数 **必須** 人所在(居住)市町村 **任意**

選択してください ▾

参加予定日 **必須**☐ 11月5日☐ 11月5日以外の「あおり防災ウィーク(10月29日～11月12日)」期間中☐ 上記以外の日実施予定の取組(複数選択可) **必須**☐ 「シェイクアウト訓練」の実施☐ 洪水・土砂災害や津波ハザードマップの確認☐ 避難場所・避難経路の確認☐ 避難経路上の危険箇所の確認☐ 避難所開設訓練☐ 備蓄物資の確認☐ 緊急時連絡体制の確認☐ 業務継続計画(BCP)遂行訓練☐ その他(自由記述)「その他」を選択した場合にご入力ください **必須**回答者メールアドレス **必須**

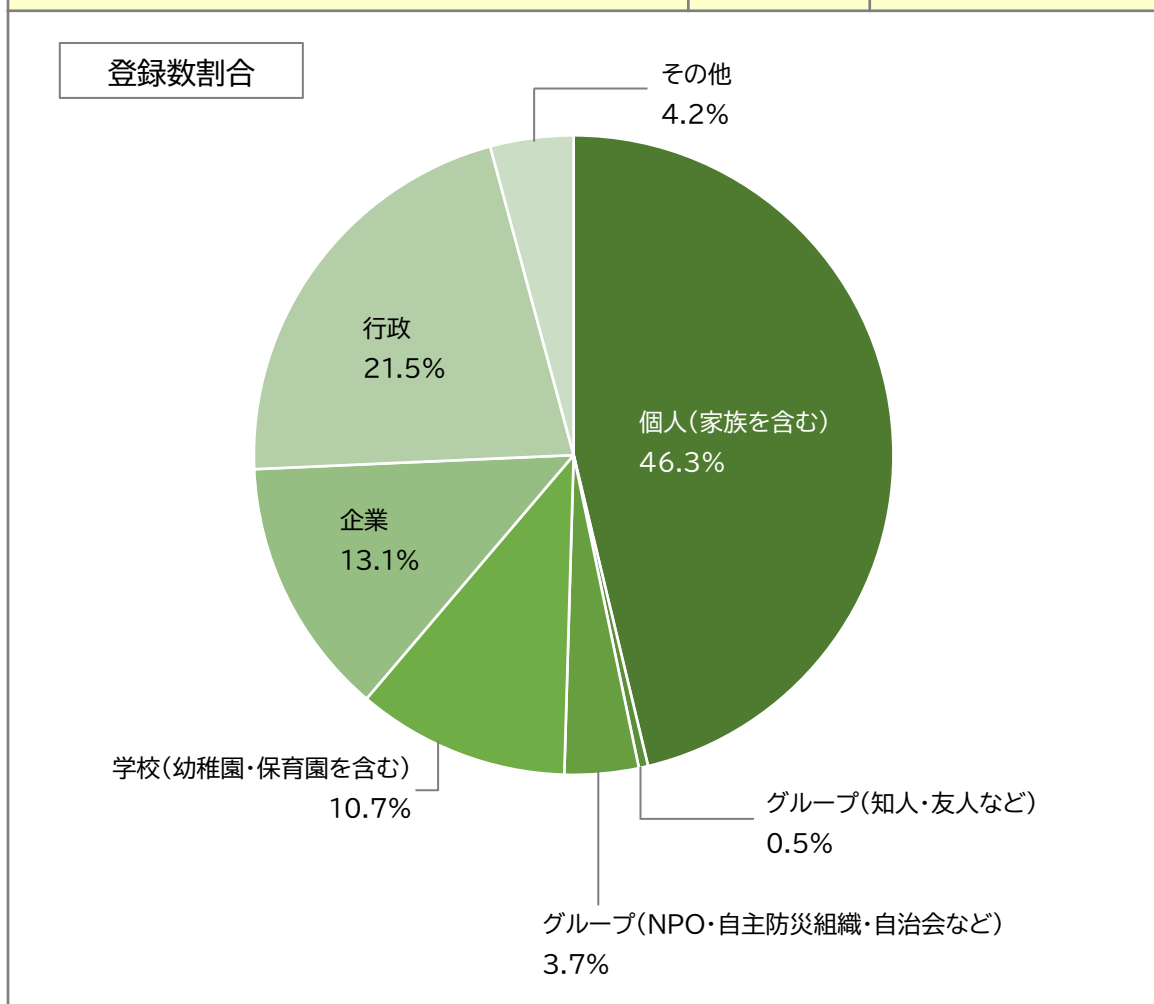
※訓練終了後に参加者アンケートを送付させていただく場合があります。

確認画面へ

参加登録集計結果

(1)参加形態別

参加形態	登録数	参加人数(人)
個人(家族を含む)	99	214
グループ(知人・友人など)	1	6
グループ(NPO・自主防災組織・自治会など)	8	213
学校(幼稚園・保育園を含む)	23	4,848
企業	28	1,058
行政	46	4,038
その他	9	1,371
合計	214	11,748



(2)市町村別

市町村	参加人数 (人)	市町村	参加人数 (人)	市町村	参加人数 (人)
青森市	5,165	今別町	3	六ヶ所村	32
弘前市	250	蓬田村	20	おいらせ町	9
八戸市	614	外ヶ浜町	70	大間町	1
黒石市	54	鰺ヶ沢町	1	東通村	15
五所川原市	522	深浦町	200	風間浦村	56
十和田市	508	藤崎町	223	佐井村	40
三沢市	457	田舎館村	3	三戸町	100
むつ市	895	板柳町	30	五戸町	142
つがる市	49	七戸町	103	田子町	500
平川市	325	横浜町	3	南部町	4
				階上町	1,096
				不明	258
				合計	11,748

(3)メッセージ

【個人・家族】

- ・今年3月に和歌山県から引越してきました。南海トラフ大地震が発生したら、大津波の被害にあう港町に居住していたため、防災士の資格をとり、防災訓練に積極的に参加し地域の皆さんと共助を図るべくコミュニティ活動に参加しておりました。青森でも、いろんな活動に参加していきたいと思っています。
- ・ここ数年防災意識と備えが稀薄になってきているので、今回のイベント参加を機に改めて最新の防災知識を得ること、そして備蓄の充実化を図りたいです。
- ・備蓄食品の賞味期限を確認します！
- ・11月初めに市の訓練に町会関係者として参加します。
- ・防災マイバックの確認をします。
- ・ハザードマップの確認と、非常用持ち出し袋の内容チェックを行います。
- ・11月5日のシェイクアウト訓練に参加します！
- ・職場のシェイクアウト訓練に参加するとともに、改めて家族と備蓄品の確認をします。
- ・我が家では備蓄品の確認とハザードマップの確認を行います。
- ・4歳の息子から「グラグラっときた時は机の下に隠れるよ！」と日頃から教えてもらっています。これからも色々な災害にどう対応していくか話し合います。
- ・私（家族を含む）は、11月5日（水）に避難場所と避難経路の確認を行います。
- ・我が家では、避難経路、持ち出し用品の確認と通電火災の対策について話し合います。
- ・災害対応方法を色々確認します。
- ・色々確認しつつチャレンジしたいと思います！
- ・事前対策は大事！
- ・自宅から最寄りの避難所の場所と自宅にある備蓄品の状況を確認します。
- ・ハザードマップの確認と、避難場所の確認をします。
- ・2歳の息子がいるので、家族みんなで避難場所までお散歩しようと思います。
- ・10月29日から11月12日の間にローリングストックを見直し、古い在庫を消費して、新しいものに買い替えます。
- ・日頃からの小さな積み重ねによって、乗り切ることにつながる。塵も積もれば山となる。
- ・幼い孫がいるので、災害時に戸惑う事なく避難できるよう、家族で考えながら確認する良い機会だと思い参加することにしました。
- ・災害時に平時と同じように過ごせるように備えます！ローリングストックのアップデートなどをします。
- ・当日は剪定作業の途中ですが仲間と共に参加しようと思います。
- ・いざ！と言う時のためにも、事前訓練は必要不可欠です。小さな訓練の積み重ねが生死を分けることもあるため、積極的にチャレンジしましょう。また、日頃から県・市などが実施している防災訓練にも参加しましょう。
- ・各地で防災意識が高まるようにシェアします。
- ・シェイクアウトとなると、なかなか参加感が湧きませんが、消防団員として動いた経験を活かし、参加し屯所に集めてみたいです。
- ・家族で避難場所の確認をします。
- ・いざと言う時のために身を守るよう家族と一緒に参加します。
- ・今回をきっかけに防災に対して備えていきたいです！

(次ページへ続く)

- ・災害時お口の中も災害だ。（災害時では、断水や節水が起きやすく、普段の口腔ケアも飲水もできない。脱水で口腔内は乾燥して悪臭が漂い、歯周病菌が激増して歯肉炎の温床となる。口の中の災害は歯磨きで防ぐ。コレは非常に忘れられがちであり、後回しにされやすい。防げる病気は防いでいこう。）
- ・シェイクアウト訓練に参加します。職場の防災訓練に参加します（11月7日予定）。青森市役所主催の避難所開設訓練に参加します。避難用リュックの中身を点検し、更新必要な物資について更新します。
- ・自分の非常持ち出しを見直します。出かけるときにいつも持って行く非常時対応ポーチを作ります。
- ・我が家では、避難場所の確認のほか、①既に用意している防災リュック3個の中身を家族間で共有・再確認 ②既に用意している非常食の中身と賞味期限を家族間で共有・再確認 ③枕元にスリッパ、懐中電灯を置いていることを家族間で共有・再確認 ④停電時・断水時の行動を家族間で共有・再確認 を行いました。

【グループ(知人・友人など)】

- ・備蓄用備品等々日々チェック

【グループ(NPO・自主防災組織・自治会など)】

- ・当クラブでは、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。また、家庭内の防災用品や非常持出袋の点検、避難経路の確認を行い、地域の防災意識の向上に努めます。
- ・TKB48の日本における実現に向け、青森県においても演習を実現したい。第1回長野県、第2回佐賀県、また沖縄、九州と計画されている様で、イタリア式避難所運営になり被災した方々が癒される様な避難所を望む。防災士にて自宅はもちろん対策万全、町内会では毎月防災回覧を回し、4町内合同での消防学校への研修に市役所防災課の援助もあり実施した。12月には町内会の忘年会の前に、あおぞら組を招いて防災実習を実施する予定である。もちろん防災士関連のイベントや県主催の訓練にも参加し、女性リーダー研修も受講予定である。
- ・当支部では10月26日と11月9日の2回にわたり、支部会員のスキルアップ研修として①非常持ち出し袋の浸透率向上について②ロープワークについての2項目に的を絞り研修会を実施します。
- ・避難時の留意点などの講話のほか、備蓄品の確認やサバ飯づくりをします。

【学校(幼稚園・保育園を含む)】

- ・生徒41名、教職員12名参加します。日頃の訓練を生かしてしっかり取り組みたいと思っています！
- ・本校では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。全校生徒・全職員で実施する予定です。
- ・本校では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。また、10月29日（水）に全校生徒を対象に東北大学より講師を招聘しての防災講話を実施します。
- ・本校では、全校児童39名と全職員が、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・当日は、時間になったら全校で机の下に隠れます。その後に青森県に住む全員がこの訓練をしていることを伝えたいと思います。
- ・本校では昨年に引き続き、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。校内一斉放送により、全校生徒・教職員が身を守る訓練を行う予定です。

(次ページへ続く)

- ・本校では、11月5日に3時間目終了間際に発災した想定で、シェイクアウト訓練を実施します。
- ・シェイクアウト訓練当日は3,4,5歳児が園外保育となっているため戸外で、0,1,2歳児は園内で参加します。合わせて保護者への緊急連絡体制の確認も実施します。
- ・本校は訓練日時の午前10時に全校でシェイクアウト訓練を実施します。また、全職員で危機管理マニュアルの確認を行います。
- ・避難訓練をします。
- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。「世界津波の日」に合わせて、校内での垂直避難を実施します。
- ・11月5日(水)のシェイクアウト訓練に、昨年同様参加します。校内放送により、全校児童及び教職員が身を守る訓練を行います。
- ・全校でシェイクアウト訓練に参加します。
- ・本校では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・本校は11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加しました。町の防災無線の合図に合わせて全校児童が机の下に避難する等、危機意識をもって実施することができました。
- ・本校では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。町防災無線を合図に、児童・職員で一緒に実施する予定です。
- ・本校では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加しました。階上町の防災無線に従い、全校生徒、教職員で実施しました。また、11月6日（木）には2学年が総合的な学習の時間（2学年PTA委員会の活動「親子学習会」も兼ねる）として町役場の担当課の協力をいただきながら避難所運営訓練を実施します。当該学年は昨年度に引き続き2年目となります。地域の方として行政区長さん5名、外国人(本校勤務ALT)も参加します。
- ・本校では各学年、活動場所（教室）でシェイクアウト訓練に参加します。

【企業】

- ・当社では、緊急時の体制及び災害発生時の初動の大切さを再確認し、災害復旧に迅速に対応できるよう資機材の在庫確認、工具等の点検を行います。また、洪水土砂災害ハザードマップを活用し、社員の防災意識を高めます。
- ・当社では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。社員の掛け声と共に実施予定です。またシェイクアウト訓練に併せて、避難場所と避難経路の確認を行います。
- ・弊社では11月5日のシェイクアウト訓練に参加予定です。ハザードマップ、避難経路、地域住民の誘導訓練、備蓄品、土嚢の作り方を実施予定です。
- ・当社では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。また、期間中に洪水土砂災害ハザードマップと避難経路上の危険箇所、緊急連絡体制の確認を実施します。
- ・いざという時に備え社員、お客様を守る応用力を養います。
- ・当事業所では、11月5日（水）に避難場所・避難経路の確認と備蓄品の確認を行います。
- ・当社では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。従業員で震災時の身を守る行動訓練を実施する予定です。
- ・当社では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。防災への意識を高めるとともに災害時の対応力向上を目的に今年も参加します。
- ・11月5日（水）10:00の県下一斉のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・当校では11月5日が休業日のため、11月13日に避難訓練を実施します。また、1月22日には全社一斉BCP訓練を行う予定です（備蓄品に関しては毎月確認）。
- ・①ガラステーブルに飛散防止フィルムを貼ります。②シェイクアウト訓練に参加します。
- ③社員の防災士としての活動を推進します。

（次ページへ続く）

- ・弊社では、11月5日（水）に県内5ヶ所の事業所にて、訓練用音源を用いたシェイクアウト訓練を行います。また、青森県における地震の相対被害やハザードマップ、避難場所・避難経路の確認を行います。
- ・当社では、11月7日（金）に実施予定の社内防災訓練において、避難経路の確認、消火器の使用訓練、ならびにAED使用講習会等を行います。
- ・被害の最小限、事業の継続、早期復旧を可能にするため職員に対する危機管理の周知徹底をします。
- ・11/5（水）10:00地震発生を想定して実施。発災時はテーブル下へ避難。その後、声掛けをして外に避難して点呼をとった。

【行政】

- ・当事務所では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。また、管理する十和田合同庁舎において庁内放送を行い、参加を呼びかけます。
- ・当事務所は11月5日（水）10:00のシェイクアウト訓練に参加します。管理する合同庁舎において館内放送を行い、庁舎入居者及び来庁者への参加を呼びかけます。
- ・当課では11月5日のシェイクアウト訓練と併せて、緊急時連絡体制の確認をするほか、安否確認の訓練を行います。
- ・当課では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に合わせて緊急時連絡体制の確認を行います。
- ・当課では11月5日のシェイクアウト訓練と併せて、緊急時連絡体制の確認をするほか、安否確認の訓練を行います。
- ・当課では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に併せて、緊急時連絡体制の確認も実施します。
- ・当所では、11月5日にシェイクアウト訓練と併せて、緊急時連絡体制の確認、リエゾン携帯物品の点検、総合防災情報システムの動作チェックを行います。
- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・当センターでは11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。また消火器の位置、排煙装置の位置、操作方法の確認を行います。
- ・当課では、シェイクアウト訓練及び緊急時連絡体制の確認を行います。
- ・むつ健康福祉庁舎では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・シェイクアウト訓練への参加のほか、執務室内の危険個所の確認、災害備蓄品の点検等を行います。
- ・当消防本部では、防火・防災に関する行事を2つ予定しています。①11月8日（土）9日（日）に「119番の日」に関連して指令管制室の一般公開を行い、模擬通報装置を使用した119番通報体験などを実施。②11月9日（日）にラインメール青森ホーム戦にあわせ、地震体験や消防車両の展示、搭乗体験などを実施。
- ・当館では、11月12日（水）に避難器具の操作訓練を行います。
- ・当部では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に合わせ、職員の安否確認訓練を行います。
- ・当課では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加するとともに、11月12日（水）には、八戸地区石油コンビナート等特別防災区域総合防災訓練に参加します。
- ・当部では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・11月5日午前10時県下一斉シェイクアウト訓練に参加するとともに、11月10日に令和7年度防災啓発研修を開催します。
- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。

（次ページへ続く）

- ・当消防本部では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に併せ、青森県太平洋側震度6弱の地震発生、大津波警報発令を想定し津波浸水エリアにある消防本部及び消防署所の本部指揮本部機能等移転の初動体制確立までを訓練します。
- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。防災行政無線を活用し、町民一斉に実施します。
- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。職員の掛け声でお客様と一緒に実施する予定です。
- ・当課は、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加しました。職員の掛け声で来客の方々と一緒に実施しました。
- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・階上町では役場庁舎内と階上町沿岸地区においてシェイクアウト訓練及び避難訓練を実施しました。また11月6日（木）には、多様性に配慮した避難所運営訓練を実施しました。階上中学校生徒（2学年）と保護者、地域住民を対象に、防災意識の向上又は災害復興時に男女共同参画の視点を持ったリーダーとなる人材の育成を目的として、防災クロスロードゲームや避難所設営等を行いました。
- ・当所では、職員の防災意識を高めることを目的として、以下について実施する予定です。
①職務上の災害対応に関する確認（対応マニュアルの確認） ②津波発生時に想定される浸水状況等の確認（青森市のハザードマップの確認） ③災害に対する平時からの備えについての確認（青森県防災ハンドブックの確認）
- ・当組織は県下一斉シェイクアウト訓練に参画して電話連絡網呼集訓練を実施し、緊急時連絡態勢の実効性を向上するとともに、防災意識の高揚を図ります。
- ・当局では、あおり防災チャレンジについて、次のとおり行います。・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加 ・局内で緊急時連絡体制を再確認 ・局内でハザードマップを呈覧 ・非常用品の保管場所と在庫の確認をして、局内で情報共有
- ・当課では、11月10日に緊急時連絡体制の確認を行います。
- ・当課では、あおり防災ウィーク期間中に、災害発生時における連絡体制の確認を実施します。
- ・当町では、11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。
- ・当センターでは11月17日（月）に地震や火災を想定した消防訓練を行います。地震発生時の身体保護や通報・消火・避難活動の手順を確認します。
- ・当課では、あおり防災ウィークに併せて、災害時対応マニュアルや連絡網の再確認を周知します。

【その他】

- ・11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。訓練当日は、会員の安否確認と防災意識の確認、助産院の物品の確認を行います。災害時の地域の母子の支援体制に役立てます。
- ・正会員、特別会員への周知し、シェイクアウト訓練に参加可能な会員は、訓練に参加します。また県本部・各支部は、防災資器材及び連絡体制について点検・確認を実施します。
- ・当会では11月5日（水）のシェイクアウト訓練に参加します。ハザードマップと避難経路の確認も行う予定です。
- ・当所では、職員間で地域の避難場所と避難経路の確認をします。万が一、地域の避難場所の受け入れが難しかった場合を想定し、八戸市内の指定避難場所をピックアップし、連絡先の一覧を作成します。

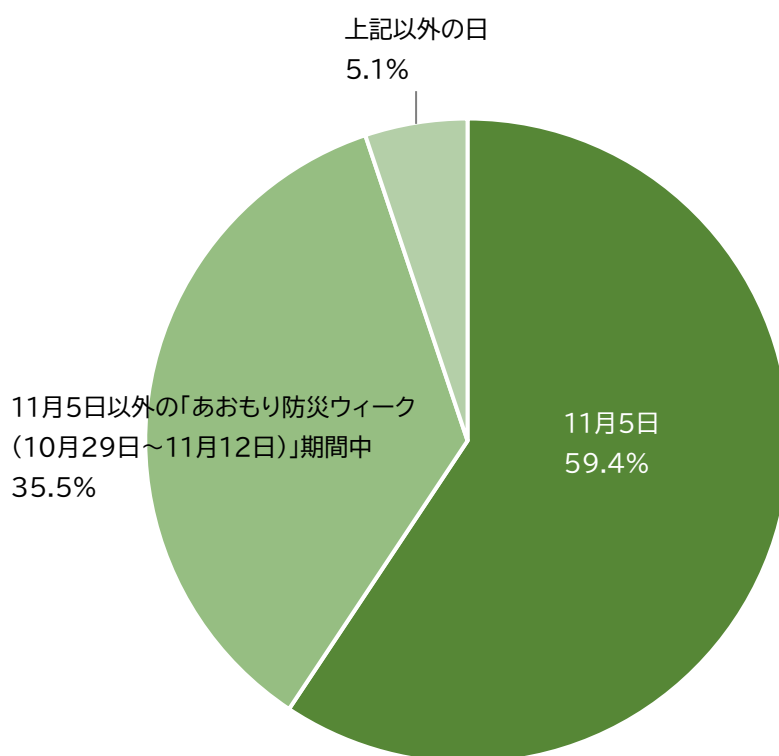
（次ページへ続く）

- ・青森県内21の自動車学校で組織する当協会では、協会一体となった全国初の取組で、この度、県内の全自動車学校が「事業継続計画（BCP）」を策定しました。大地震・大津波、大雨・洪水などの緊急事態発生時に、教習生らの生命身体の安全を最優先にして避難・誘導ができるよう備えています。自動車学校も、できるカタチで県民を守ります！
- ・当会では、11月12日（水）に避難経路の確認や備蓄物資の点検、緊急時の連絡体制の確認を行います。

(4)参加予定日

参加予定日	登録数	参加人数(人)
11月5日	127	9,777
11月5日以外の「あおり防災ウィーク (10月29日～11月12日)」期間中	76	1,364
上記以外の日	11	607
合計	214	11,748

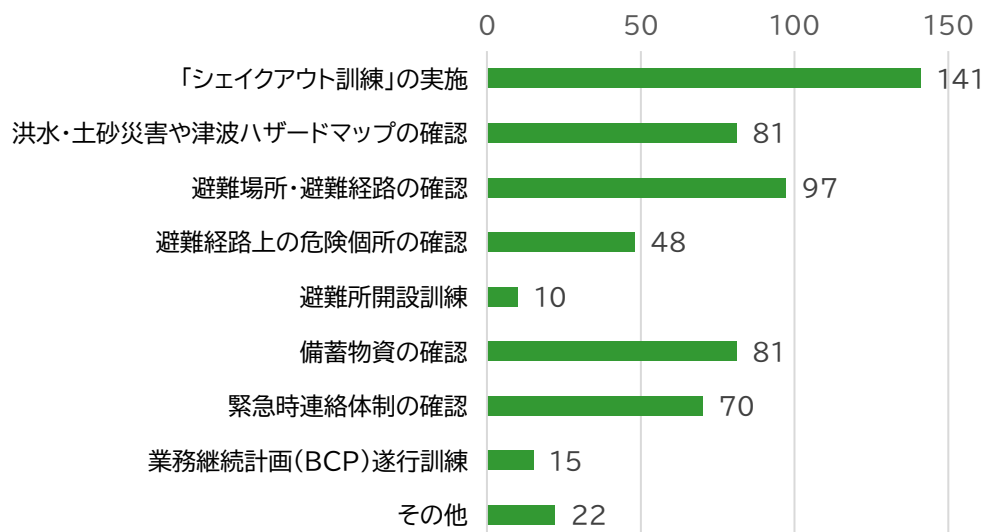
登録数割合



(4)実施予定の取組(複数回答)

参加予定日	登録数	参加人数(人)
「シェイクアウト訓練」の実施	141	10,238
洪水・土砂災害や津波ハザードマップの確認	81	1,414
避難場所・避難経路の確認	97	2,791
避難経路上の危険個所の確認	48	1,876
避難所開設訓練	10	145
備蓄物資の確認	81	2,316
緊急時連絡体制の確認	70	2,981
業務継続計画(BCP)遂行訓練	15	811
その他	22	1,329

登録数



【その他】

- ・ 会員の安否確認と防災意識の確認と助産院の物品の確認を行います。災害時の地域の母子の支援体制に役立てる。
- ・ 緊急時の安否確認を想定した訓練
- ・ 災害派遣時の携行物品の点検、防災情報システムの動作チェック
- ・ ①119番通報から消防車出動までの流れを理解し、119番通報の模擬体験をすることで、理解を深める。②地震体験や消防車両の展示、搭乗体験を行い、防火・防災意識の向上を図る。
- ・ 八戸市主催避難訓練への参加
- ・ 避難器具の操作訓練
- ・ 防災士のスキルアップ
- ・ 感震ブレーカ取付
- ・ 八戸地区石油コンビナート等特別防災区域総合防災訓練への参加
- ・ 自治体の訓練への参加等
- ・ ガラステーブルに飛散防止フィルムを貼ります。
- ・ 屯所に集まり、今後の活動の打合せの図上訓練をしたい。
- ・ EMISの活用、被災地からの脱出計画とルートと金銭の確保と避難後の生活プランのシミュレーション
- ・ 非常用持ち出しバッグの点検、常時持ち歩き非常用ポーチ作成
- ・ 業務継続計画（BCP）の確認
- ・ 情報伝達訓練、消防団状況報告訓練、避難所受付訓練、防災セミナー、炊き出し訓練
- ・ サバイバル飯づくり
- ・ 消火器使用訓練、AED使用講習会
- ・ 年に3回の避難訓練では地震や火事を想定して実施しているので、この機会を活用し、本校では他国からのミサイル発射に伴う安全行動の確認を行うこととしました。
- ・ 火災発生の通報（模擬）、消火器を使用した消火訓練
- ・ 災害時対応マニュアル（経済産業部編）の再確認を課内に周知

▶ 実施アンケートについて

アンケートフォーム解放期間 令和7年7月31日(木)～12月31日(水)

<アンケートフォーム(1/2)>

あおもり防災チャレンジ 「チャレンジ宣言」実施アンケート

「あおもり防災チャレンジ」に参加した感想やご意見などをお聞かせください。

「あおもり防災チャレンジ」に参加した方は、下記項目の入力をお願いします。
お預かりした情報は、今後の事業の参考とさせていただきます。

Q1.参加団体の形態について 必須

- ☐ 小学校・中学校
- ☐ 高校
- ☐ 大学
- ☐ 専修学校・各種学校
- ☐ 特別支援学校
- ☐ 保育所・幼稚園・こども園
- ☐ 行政機関・公的機関
- ☐ 医療・福祉機関
- ☐ 企業
- ☐ 自主防災組織
- ☐ その他団体
- ☐ 個人・家族

Q2.実施場所について 必須

- ☐ 学校
- ☐ 職場
- ☐ 地域の集会所
- ☐ 保育所・幼稚園・こども園
- ☐ 外出先
- ☐ その他

Q3.「チャレンジ宣言」の情報を知った手段について 必須

※複数選択可

- ☐ 職場での案内
- ☐ ポスター・チラシ
- ☐ インターネット
- ☐ 回覧板
- ☐ 口コミ・人から聞いた
- ☐ テレビ・ラジオ
- ☐ その他

<アンケートフォーム(2/2)>

※Q3で「その他」を選択した方はご記入ください 必須Q4.取り組んだ「チャレンジ宣言」の内容について 必須

※複数選択可

- ☐ 「シェイクアウト訓練」を実施した
- ☐ 洪水・土砂災害や津波ハザードマップを確認した
- ☐ 避難場所・避難経路を確認した
- ☐ 避難経路上の危険箇所を確認した
- ☐ 避難所開設訓練を実施(参加)した
- ☐ 備蓄物資を確認した
- ☐ 緊急時連絡体制を確認した
- ☐ 業務継続計画(BCP)遂行訓練を実施(参加)した
- ☐ その他(自由記述)

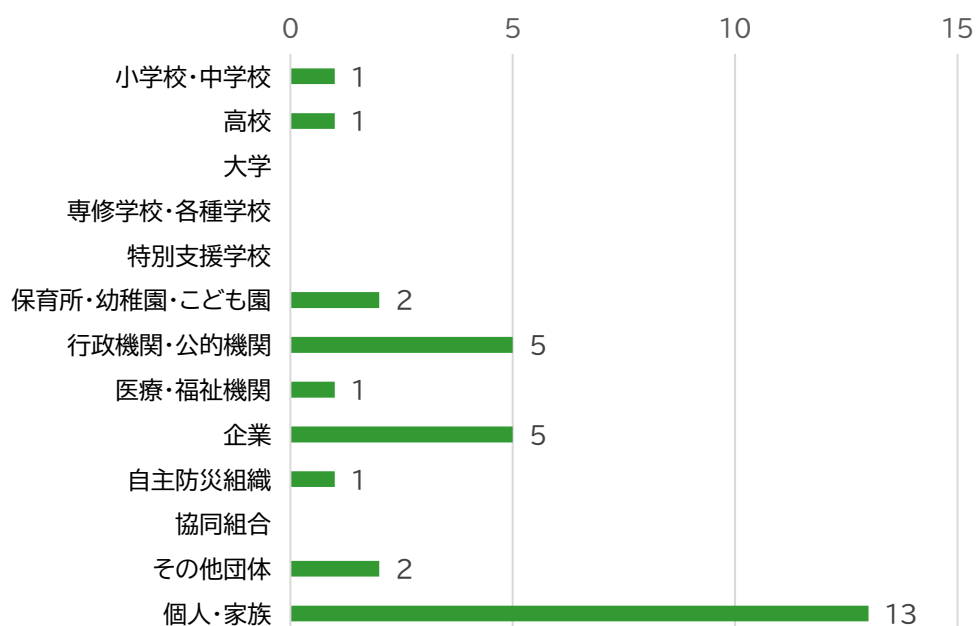
※Q4で「その他(自由記述)」を選択した方はご記入ください 必須Q5.今回の「チャレンジ宣言」で防災について改めて気づいたこと(自由回答) 任意Q6.今回の「チャレンジ宣言」に対する感想・意見 任意[確認画面へ](#)

実施アンケート集計結果

Q1. 参加団体の形態について

参加形態	回答数(件)
小学校・中学校	1
高校	1
大学	
専修学校・各種学校	
特別支援学校	
保育所・幼稚園・こども園	2
行政機関・公的機関	5
医療・福祉機関	1
企業	5
自主防災組織	1
協同組合	
その他団体	2
個人・家族	13
合計	31

回答数

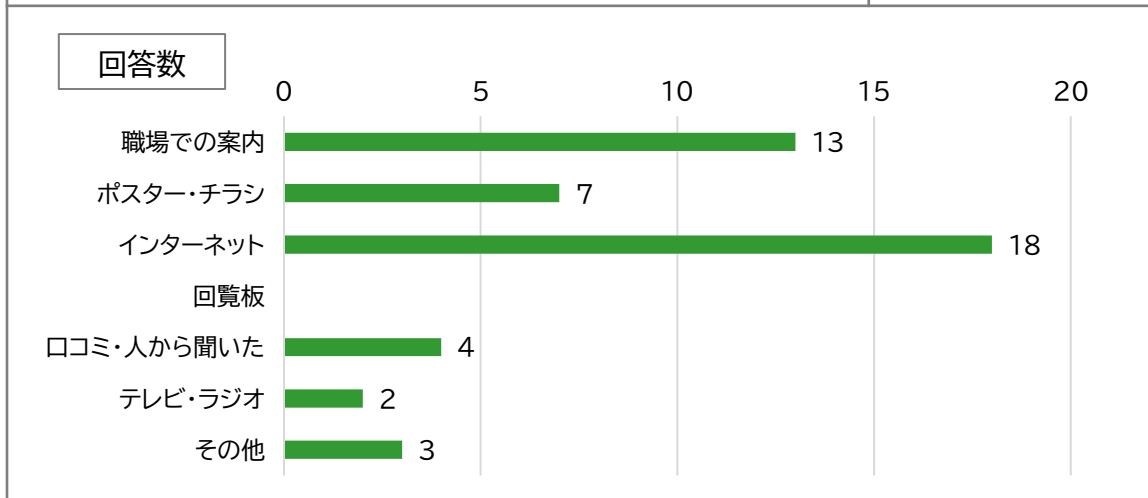


Q2. 実施場所について

参加形態	回答数(件)
学校	3
職場	14
地域の集会所	1
保育所・幼稚園・こども園	1
外出先	2
その他	10
合計	31

Q3. 「チャレンジ宣言」の情報を知った手段について(複数回答)

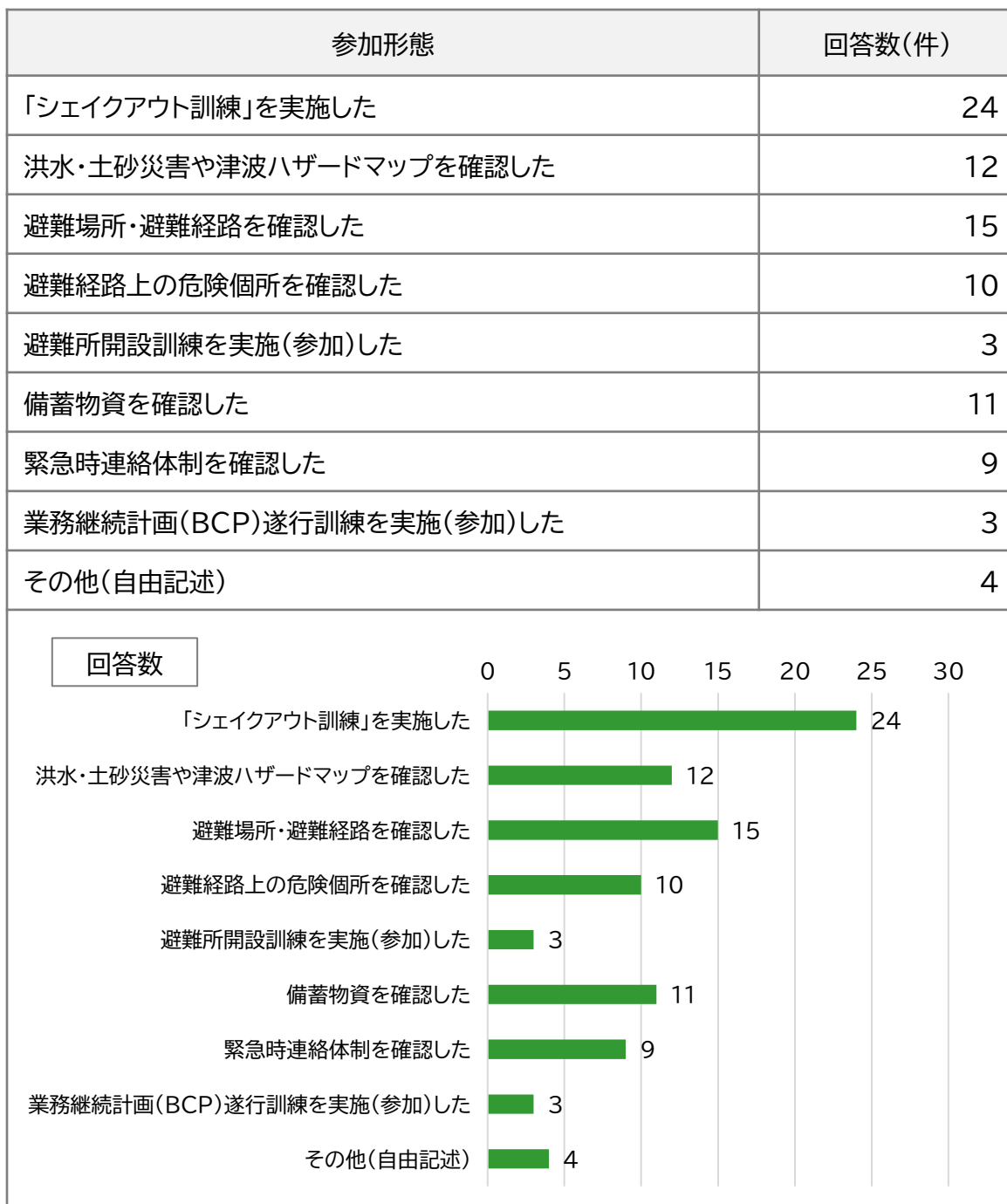
参加形態	回答数(件)
職場での案内	13
ポスター・チラシ	7
インターネット	18
回覧板	
口コミ・人から聞いた	4
テレビ・ラジオ	2
その他	3



【その他】

- ・防災士会会長からのお知らせ
- ・市役所のパンフレット置き場
- ・むつ市からのメール

Q4. 取り組んだ「チャレンジ宣言」の内容について(複数回答)



【その他】

【行政機関・公的機関】

- ・ 火災発生 の 通報訓練 (模擬) を実施した。

【その他団体】

- ・ ポリ袋で湯せん調理・実食 (蒸しパン、高野豆腐、切り干し大根、サバみそと温野菜、焼きそば)、防災食 (パンの缶詰やパスタ等) の試食

【個人・家族】

- ・ 被災地からの脱出計画立案と評価、避難後の生活プラン

Q5. 今回の「チャレンジ宣言」で防災について改めて気づいたこと(自由回答)

【高校】

- ・実施して、改めて緊急時の対応について生徒・職員共に確認できた。

【保育所・幼稚園・こども園】

- ・複数の災害通知があったから今回実際の危機感を感じられました。自分はヤフーとラジオが通知として便利でしたが、他にも個人にも届く通知がさらにあればいいと感じました。お疲れ様でした。
- ・はじめて参加しました。園外保育でという経験がありませんでしたので、良い機会をいただくことができました。日頃の訓練の成果か、指示を聞いて「ダンゴムシ」ポーズで待機するの行動ができていたことに『継続は継続は力なり』を改めて感じることができました。

【行政機関・公的機関】

- ・日頃の準備や知識が非常に重要だと感じました。

【医療・福祉機関】

- ・避難経路の確認を、施設利用児童と避難訓練で実際に歩いた。経路上の危険個所としては暗渠、道路端の傾斜、植木の葉が尖っているなど、子供目線で見ると危険個所があり、日ごろから確認していくことが大切だと感じた。災害備蓄品に関しては、乾燥して使えなくなっているものや賞味期限の問題があり、定期的なチェックが必要であった。

【企業】

- ・ハザードマップを詳しく確認できました。会社は八戸市南郷にあるのですが、会社周辺の土砂災害のハザードマップがないのが残念でした。
- ・シェイクアウト訓練を実施し、いつ発生するかわからない震災に普段より役割を決め、行動訓練を行っておくことは従業員の生命を守ることに非常に重要なことであると感じた。

【自主防災組織】

- ・避難所が小学校とかの学校などでは、運用に関して不便な点があると気づいた。

【その他団体】

- ・集会所のどこに備蓄品があって、何があるのか住民が知らないことが多い。

【個人・家族】

- ・チャレンジ宣言という言葉が行動し難い感じがする。災害は身近なもの誰でも被る物なんだよ、と伝えたい。
- ・こういったアンケート回答に対するPDCAが不足している。
- ・昨今は水災害が多く、ルートの確保と生存率もそうだが、季節によっては低体温、感染予防など、震災以上に困難さを呈していた。この枠組みでは書ききれないため抽象的にしか記せないが、最適解を求めるには、自身や周囲の年齢や体力などの心身の状態も大きな要因の一つだと実感した。
- ・意外にも冷静にシェイクアウト訓練をスムーズに実施出来て、少し自信がついて、参加させていただき、有意義だった。

(次ページへ続く)

- ・職場にいる時の避難先が明確となりました。ただし、業務資材の移動が困難ということが明確となりました。
- ・どこにいても災害対応は必要なことを改めて感じた。
- ・スマホは鳴ったが、防災放送は鳴らなかったもので、少し拍子抜けでした。むつの場合、放送設備を更新したばかりだったので、なおさら新旧の違いが解らずでした。一斉に鳴った場合の現状がしりたかったです。
- ・青森県だけではなく、日本国内どこでも災害は起こります。何時起こっても、今回と同じよう慌てず、落ち着いて行動できるようにしたいです。
- ・東日本大震災を教訓に自治体も住民も防災意識が高いと感じました。自助、公助はいいですが、共助は日常のお付き合い、頻繁な防災訓練が必要と考えます。
- ・自身の居住する町でどのように対応しているか確認できてよかったです。県の防災訓練の規模で青森県内全部の市町村でも住民参加型を体験できたらいいと感じました。

Q6. 今回の「チャレンジ宣言」に対する感想・意見

【保育所・幼稚園・こども園】

- ・避難訓練は毎月していますが、施設以外での被災は自分の安全は他の誰かの避難訓練次第によると思います。他の誰かの避難訓練も充実していくこの訓練はいいと思います。
- ・防災行政無線、緊急速報メール等…とありましたがよく理解できていないまま参加してみました。青森市はどのような伝達手段が用いられているのでしょうか。実際にその手段を活用できればもっと緊張感を味わえるかと感じました。

【行政機関・公的機関】

- ・防災意識が高まりました。

【医療・福祉機関】

- ・避難訓練は行政の指導で行っているが、備蓄品の確認やハザードマップチェックなど別視点から災害準備のチェックをすることができた。今後も定期的にチェックを行い、いざ災害に遭遇しても、慌てず冷静に対処できるよう心掛けていきたい。

【企業】

- ・会社内で集合研修を実施して良い啓蒙活動ができました。今後もあれば参加させていただきたいと思います。
- ・県内一斉に訓練放送を合図に実施でき、本社のみならず、各営業所、現場が同時に訓練できることは非常に良いと思う。今後も参加継続し、実際の震災の備えを構築していきたい。

【自主防災組織】

- ・やはり日本は防災に関して遅れがあり、何故進まないのか政治のせいなのかと感じずにはいられない。TKB48、先ずはやってみて結果が出たら即進めるべきと確信している。

【その他団体】

- ・個々の防災意識も高まり、地域として考えていかなければいけないという意識づけができたと思う。

【個人・家族】

- ・周りの人は自分が住んでいる所は災害に遭ったことはない、と感じている。しかし明日は我が身にふり掛かる事を考え思うことが大事なのでは。
- ・本業務自体が無理・無駄な業務でないことを期待する。
- ・最近の災害はほぼ複合災害であるため、本当に困ることが多いです。例えばこんな時という例題を作ってシミュレーションしても良いかもしれません。原子力災害も災害なので、知識普及したほうが良いと思います。無知こそ最も損害が大きい人為災害です。
- ・是非、来年もまた訓練を実施して欲しい。訓練を重ねる事で、防災意識も高まり、災害に対応する力がつくように思いました。備えあれば憂いなしだと思います。良い機会を与えていただきありがとうございました。
- ・日常を再度認識することとなりました。
- ・通院先にいたので、シェイクアウト姿勢をすることに抵抗があった。

(次ページへ続く)

- ・消防団員なので、人員が集まればポンプ車を出し、本番同様にする予定でしたが、消防署でも把握しておらず、ポンプ車を動かす連絡したら、何の訓練ですか？と問われ、それも拍子抜けでした。
- ・青森県防災の日として、県内全域同じ日（その後一週間等をチャレンジ宣言週間）に行ってほしいです。
- ・地震、台風による災害に備える事も重要ですが、四日市市をはじめ各地で被害を受けた線状降水帯、ゲリラ豪雨、河川崩壊、浸水についても、住民意識を高め、自治体の対策が必要だと思います。
- ・様々な防災に対する対応を考えました。が、青森県なので豪雪などの対応についても住民参加型を検討してもいいと感じました。